

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成17年12月22日(2005.12.22)

【公表番号】特表2005-506290(P2005-506290A)

【公表日】平成17年3月3日(2005.3.3)

【年通号数】公開・登録公報2005-009

【出願番号】特願2002-570969(P2002-570969)

【国際特許分類第7版】

C 07D 277/20

A 61K 31/425

A 61K 31/427

A 61K 31/4439

A 61P 35/00

A 61P 35/02

C 07D 277/34

C 07D 277/36

C 07D 417/06

C 07D 417/10

C 07D 417/14

C 07F 7/18

【F I】

C 07D 277/34

A 61K 31/425

A 61K 31/427

A 61K 31/4439

A 61P 35/00

A 61P 35/02

C 07D 417/06

C 07D 417/10

C 07D 417/14

C 07F 7/18

U

C 07D 277/36

【手続補正書】

【提出日】平成17年3月7日(2005.3.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

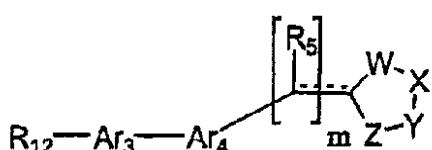
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

以下の式の化合物：

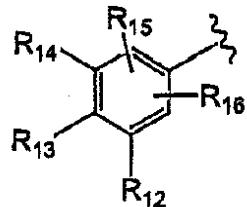
【化1】



、またはその薬学的に受容可能な塩であって、ここで：

(a) Ar<sub>3</sub> は、以下の式：

【化2】



を有する芳香族環残基であり、ここで、

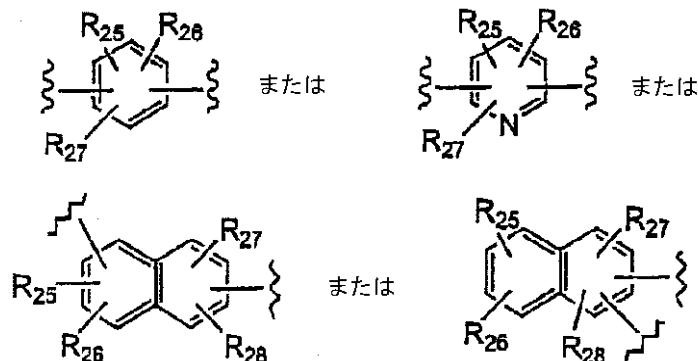
(i) R<sub>1~2</sub> は、6~18個の炭素原子を含む、アルキル残基または置換アルキル残基；あるいは5~18個の炭素原子を含む、シクロアルキル、置換シクロアルキル、複素環、置換複素環、ヘテロアリール、置換ヘテロアリール、アリールまたは置換アリールの残基であり、そして、

(ii) R<sub>1~3</sub> は、アルコキシ、置換アルコキシ、またはヒドロキシル残基であるか、あるいはR<sub>1~3</sub> およびR<sub>1~4</sub> が一緒になって、アルキレン-ジオキシ置換基の環を形成し；そして、

(iii) R<sub>1~4</sub>、R<sub>1~5</sub> およびR<sub>1~6</sub> は、独立して、水素、ヒドロキシル、アミノ残基；6~18個の炭素原子を含む、アルキル残基または置換アルキル残基；あるいは5~18個の炭素原子を含む、アルケニル、置換アルケニル、アルキニル、置換アルキニル、シクロアルキル、置換シクロアルキル、複素環、置換複素環、アルコキシ、置換アルコキシ、アシル、一置換アミノ、二置換アミノ、カルボキシ、カルボアルコキシ、ニトリル、アルキルカルボキサミド、置換アルキルカルボキサミド、ジアルキルカルボキサミド、置換ジアルキルカルボキサミド、ハロアルコキシ、トリオルガノシリルオキシ、ヘテロアリール、置換ヘテロアリール、アリールまたは置換アリールの残基から選択されるか、あるいは、R<sub>1~3</sub>、R<sub>1~4</sub>、R<sub>1~5</sub> およびR<sub>1~6</sub> のうちの2つが一緒になって、アルキレン-ジオキシ置換基の環を形成し；

(b) Ar<sub>4</sub> が、以下の式：

【化3】



を有し、ここで、R<sub>2~5</sub>、R<sub>2~6</sub>、R<sub>2~7</sub> およびR<sub>2~8</sub> は、独立してかまたは一緒になって、水素、アルキル、置換アルキル、アルケニル、置換アルケニル、アルキニル、置換アルキニル、シクロアルキル、置換シクロアルキル、複素環、置換複素環、アルコキシ、置換アルコキシ、ヒドロキシル、アシル、アミノ、一置換アミノ、二置換アミノ、カルボキシ、カルボアルコキシ、アルキルカルボキサミド、置換アルキルカルボキサミド、ジアルキルカルボキサミド、置換ジアルキルカルボキサミド、ハロアルコキシ、ヘテロアリール、置換ヘテロアリール、アリール、置換アリールであり；

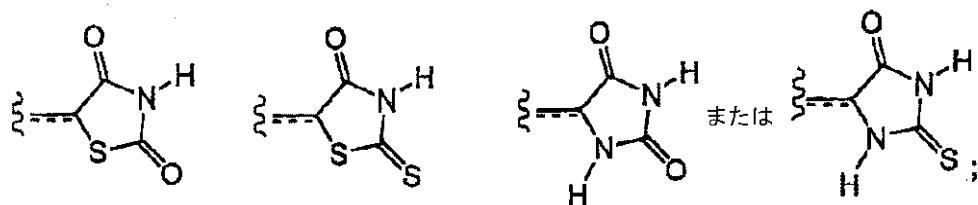
(c) R<sub>5</sub> は、水素であり；

(d) - - - - は、結合の存在または非存在を表し；

(e) m は、1の整数であり；そして、

(f) W、X、YおよびZは、以下の式：

【化4】



の残基を形成する、化合物。

【請求項2】

R<sub>1~2</sub>がシクロアルキル、置換シクロアルキル、複素環残基または置換複素環残基である、請求項1に記載の化合物。

【請求項3】

R<sub>1~2</sub>がフェニル、2-ピリジル、3-ピリジル、4-ピリジル、1-アルキルシクロヘキシル、またはアダマンチルの残基である、請求項1に記載の化合物。

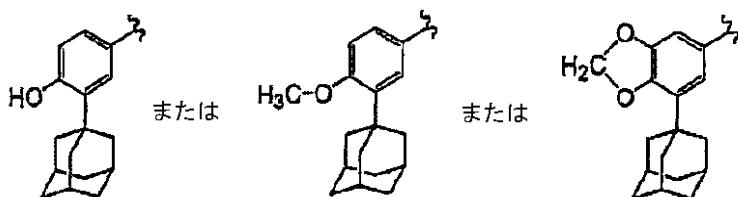
【請求項4】

R<sub>1~2</sub>が2-ピリジル、3-ピリジル、4-ピリジル、1-メチルシクロヘキシル、またはアダマンチルの残基である、請求項1に記載の化合物。

【請求項5】

A<sub>r3</sub>が、以下の構造：

【化5】



を有する、請求項1に記載の化合物。

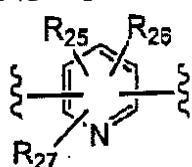
【請求項6】

A<sub>r4</sub>およびR<sub>2~5</sub>、R<sub>2~6</sub>、R<sub>2~7</sub>および/またはR<sub>2~8</sub>は、一緒になって、6~12個の炭素原子を含む、請求項1に記載の化合物。

【請求項7】

A<sub>r4</sub>は、以下の構造：

【化6】

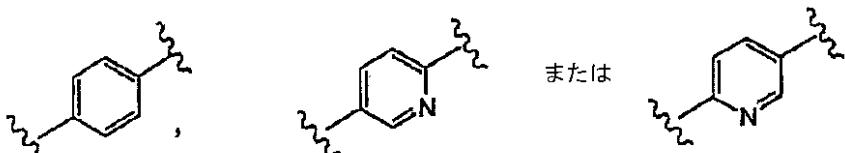


を有し、ここでR<sub>2~5</sub>、R<sub>2~6</sub>、R<sub>2~7</sub>および/またはR<sub>2~8</sub>は、一緒になって、6~12個の炭素原子を含む、請求項1に記載の化合物。

【請求項8】

A<sub>r4</sub>は、以下の構造：

【化7】

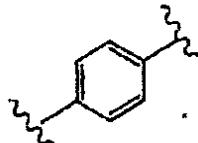


を有する、請求項 1 に記載の化合物。

**【請求項 9】**

A r<sub>4</sub> は、以下の構造：

**【化 8】**

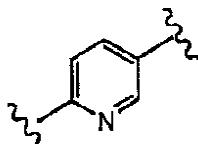


を有する、請求項 1 に記載の化合物。

**【請求項 10】**

A r<sub>4</sub> は、以下の構造：

**【化 9】**

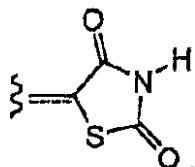


を有する、請求項 1 に記載の化合物。

**【請求項 11】**

W、X、Y および Z は、以下の式：

**【化 10】**



の残基を形成する、請求項 1 に記載の化合物。

**【請求項 12】**

式 6 - [ 3 - ( 1 - アダマンチル ) - 4 - ヒドロキシ - フェニル ] - ピリジン - 3 - イルメチレン ] - チアゾリジン - 2 , 4 - ジオンまたはその薬学的に受容可能な塩の化合物。

**【請求項 13】**

請求項 1 または 1 2 に記載の化合物のうちの 1 以上、またやその薬学的に受容可能な塩、および 1 以上の薬学的に受容可能なキャリアを含む、薬学的組成物。

**【請求項 14】**

哺乳動物における 1 つ以上の癌を処置するのに適切な、請求項 1 3 に記載の薬学的組成物。

**【請求項 15】**

前記癌が、ホジキン病、骨髄性白血病、多発性囊胞腎疾患、膀胱癌、脳の癌、頭頸部癌、腎臓癌、肺癌、骨髄腫、神経芽細胞腫 / 神経膠芽細胞腫、卵巣癌、膵臓癌、前立腺癌、皮膚癌、肝臓癌、黒色腫、結腸癌、子宮頸癌、乳癌、上皮癌、および白血病である、請求項 1 4 に記載の薬学的組成物。

**【請求項 16】**

前記癌が乳癌、膵臓癌、または結腸癌である、請求項 1 4 に記載の薬学的組成物。

**【請求項 17】**

前記哺乳動物がヒトである、請求項 1 6 に記載の薬学的組成物。